

日本金銭機械株式会社
 JAPAN CASH/MACHINE CO., LTD.

J'S REPORT

第68期 中間期株主通信 [2020年4月1日~2020年9月30日]

To Our Shareholders

株主の皆様へ

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第68期中間期の株主通信をお届けするに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

当中間期の業績は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響に伴い、大変厳しい事業環境となったことにより、売上高の大幅な減少とともに、利益面でも損失を計上する結果となりました。

当期の中間配当につきましては、このような状況を踏まえ、実施を見送らせていただくことといたしました。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

また、当社グループでは、未だ終息時期が不透明なコロナ禍の状況を乗り切るとともに、アフターコロナの世界における変化に適応した事業構造の変革に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2020年12月

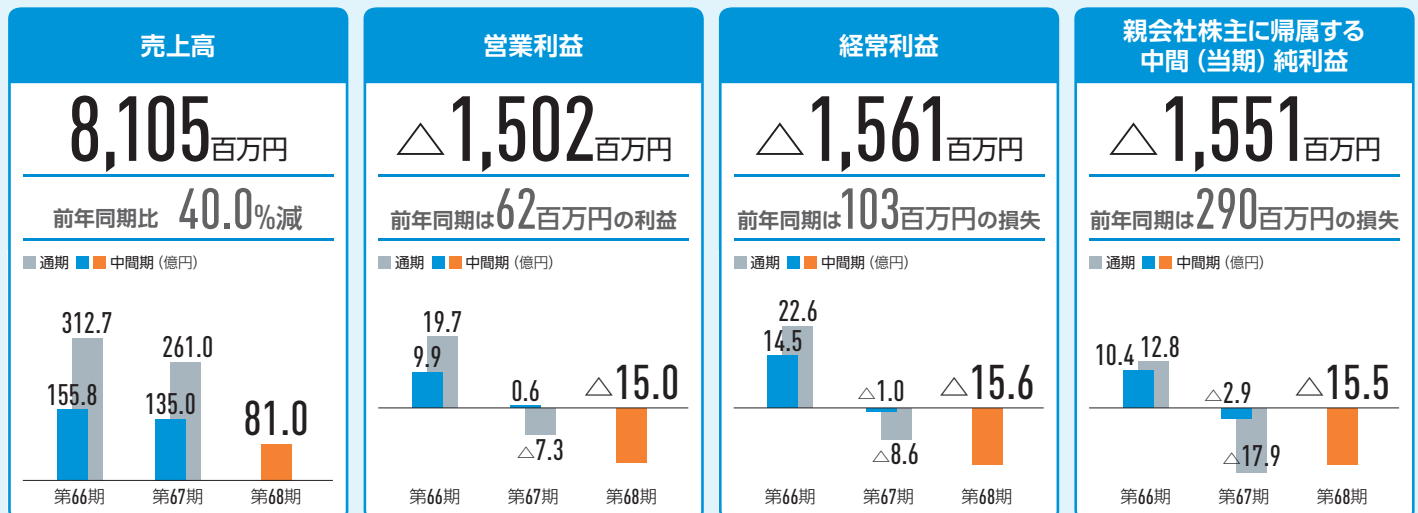
 代表取締役社長 **上東 洋次郎**


Consolidated Operating Highlights

連結業績ハイライト

 第68期
 中間期


新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当社グループの主要市場であるゲーミング市場、遊技場向機器市場を中心に、顧客の設備投資意欲が極めて低調に推移したこともあり、前年同期と比較しても売上高が大幅に減少し、各段階の利益についても損失を計上いたしました。


 第68期の
 見通し

欧州や北米にて新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、終息時期は現時点では引き続き不透明な状況にあり、未だ合理的な算定が困難であることから、引き続き通期の業績予想については未定としております。現在、当社グループでは、今後数年間にわたりコロナ禍が続くことを前提とした業績の改善施策の立案を進めており、合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

注) 本中間期株主通信においては、第2四半期累計期間(6か月)を便宜上、全て中間期と表示いたしております。

グローバルゲーミング



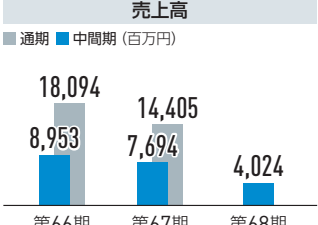
売上高 4,024 百万円 前年同期比 47.7%減

セグメント利益 △408 百万円 前年同期は 1,138百万円の利益

■北米地域では紙幣識別機ユニット及びプリンターユニット、欧州地域では紙幣還流ユニットの販売が大幅に減少

売上高

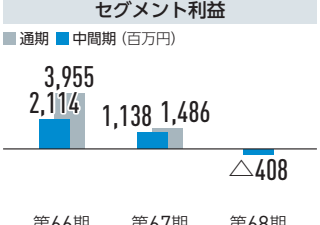
■ 通期 ■ 中間期 (百万円)



第66期 第67期 第68期


セグメント利益

■ 通期 ■ 中間期 (百万円)



第66期 第67期 第68期

海外コマーシャル



売上高 1,240 百万円 前年同期比 12.5%減

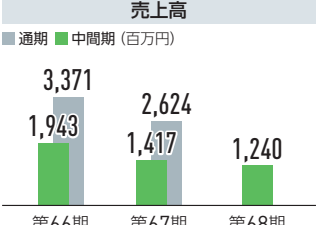
セグメント利益 △508 百万円 前年同期は 405百万円の損失

■アジア地域(中国、インド及びシンガポール)にて鉄道券売機向けに新製品の紙幣還流ユニット等の販売が増加

■欧州地域にて紙幣還流ユニットの販売が減少

売上高

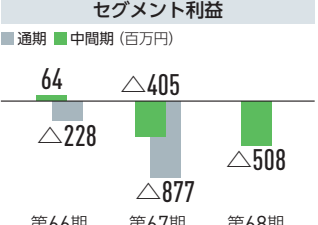
■ 通期 ■ 中間期 (百万円)



第66期 第67期 第68期


セグメント利益

■ 通期 ■ 中間期 (百万円)



第66期 第67期 第68期

国内コマーシャル



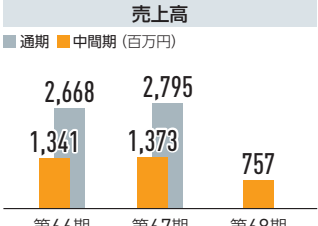
売上高 757 百万円 前年同期比 44.9%減

セグメント利益 30 百万円 前年同期比 87.7%減

■新型コロナウイルスの影響による一部の受注キャンセルもあり、紙幣識別機ユニット及び貨幣処理機器ユニットの販売が減少

売上高

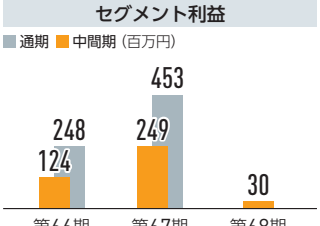
■ 通期 ■ 中間期 (百万円)



第66期 第67期 第68期


セグメント利益

■ 通期 ■ 中間期 (百万円)



第66期 第67期 第68期

遊技場向機器



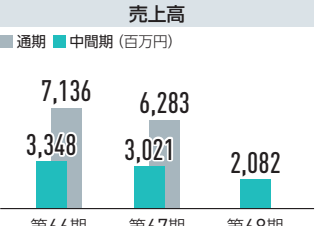
売上高 2,082 百万円 前年同期比 31.1%減

セグメント利益 △473 百万円 前年同期は 56百万円の損失

■メダル自動補給システムを中心とした主力製品の販売が減少

売上高

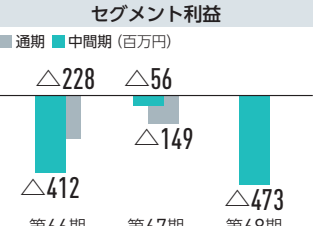
■ 通期 ■ 中間期 (百万円)



第66期 第67期 第68期

セグメント利益

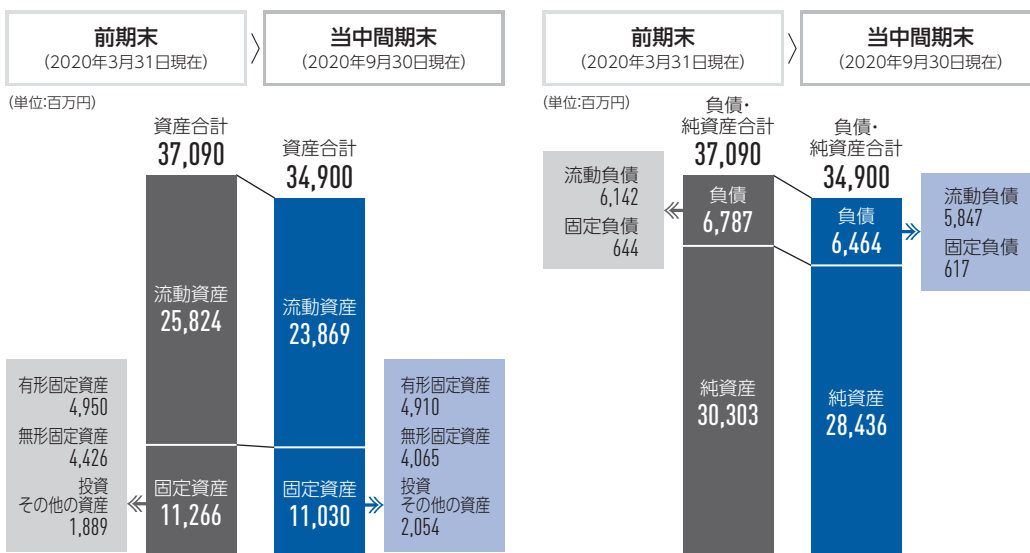
■ 通期 ■ 中間期 (百万円)



第66期 第67期 第68期

Consolidated Balance Sheet

連結貸借対照表



POINT

資産・負債・純資産

流動資産は、「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」が減少いたしました。また、固定資産は、企業買収時に計上した「のれん」等の無形固定資産の償却が進んだことなどから、減少いたしました。

負債は、「支払手形及び買掛金」、「賞与引当金」が減少し、純資産は、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により「利益剰余金」が減少いたしました。

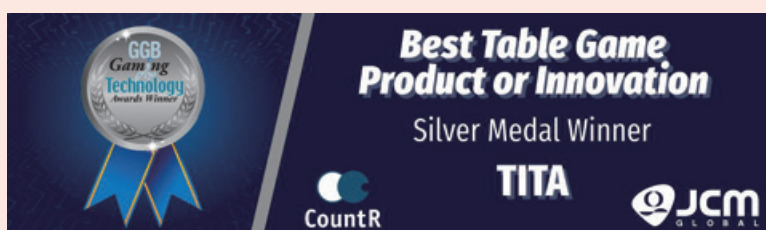
① 「TITA」システムが「GGB Gaming and Technology Award」でSilver Awardを受賞

今年で19回目を迎える「GGB Gaming and Technology Award」（主催：Global Gaming Business Magazine社）は、革新性や実用性に優れた製品や技術に贈られる米国ゲーミング業界における権威ある賞の一つであります。

毎年多くの企業がエントリーする中、今回、当社が出展したテーブルゲームシステムが、同部門において、Silver Award（2位）を受賞しました（共同出展したCount R社との共同受賞）。

このシステムは、テーブルゲームをプレイする際の全ての決済（現金等のチップへの交換など）を卓上で行うことが可能となり、さらに現金に加え、電子マネーやチケットでの決済も可能としたもので、近い将来のキャッシュレスへの準備にも万全を期しております。

「TITA」システム動画



② 「MRX」に高識別モデルを加え、ラインナップを拡充

昨年より新製品として販売している「MRX」は、欧州・アジアをはじめ世界各国の交通・流通市場に導入されております。

現在、「MRX」の識別能力を強化したバージョン「MRX-CIS」を開発中で、まもなく市場に追加投入いたします。

今回の識別能力の強化により、紙幣の真偽識別はもちろん、紙幣記番号の認識や偽造券の追跡などが可能となることに加え、各国中央銀行のセキュリティ基準を満たしていることから、幅広い顧客のニーズに応えることが可能となり、従来の「MRX」の販売市場をさらに拡大し、様々な国や地域、業界、市場、分野での採用が見込まれます。

このような機能を追加搭載することで、当社がこれまで得意としてきたゲーミング市場に留まらず、より多くの市場が販売ターゲットとなり、将来の販売拡大に資するものと期待しております。

「MRX-CIS」動画



「MRX搭載精算機（ギリシャ飲食店）」



「MRX-CIS」

③ フィリピン工場への移管の進捗状況

中国からフィリピンへの生産移管は、両国における新型コロナウイルスの影響により、一時的に中断を余儀なくされましたが、本年6月にはフィリピン工場の生産ラインが完成し、来年夏頃（予定）からの稼働に向けて、準備は最終段階を迎えております。これにより、一層のコストダウンと製品品質安定を目指すものであります。



「フィリピン工場 製品組立ライン」

(2020年9月30日現在)

会社概要

商号	日本金銭機械株式会社 JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.
設立	1955年1月11日
本社	大阪市平野区西脇二丁目3番15号
東京本社	東京都中央区東日本橋二丁目23番2号
資本金	2,216,945千円

当社グループ拠点 (国内営業拠点)	大阪、東京、札幌、仙台、名古屋、松山、福岡
(海外営業拠点)	ラスベガス(米国)、デュッセルドルフ(ドイツ)、 ミルトンキーネズ(英国)、シドニー(豪州)、 マカオ、上海(中国)
(研究開発拠点)	大阪、東京、バンコク(タイ)
(生産拠点)	長浜(滋賀)、香港、深圳(中国)、 ラグナ(フィリピン)

取締役及び監査役

取締役 会長	上東 宏一郎
代表取締役 社長	上東 洋次郎
常務取締役	高垣 豪
取締役	井内 良洋
取締役	上野 光宏
取締役	中谷 議人
取締役(社外取締役)	吉川 興治
取締役(社外取締役)	猿渡 辰彦
常勤監査役	山澤 茂
常勤監査役	寺岡 路正
監査役(社外監査役)	森本 宏
監査役(社外監査役)	佐藤 陽子

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) (受付時間 平日9時~17時)
(ホームページURL)	https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株式の状況

発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	29,662,851株
単元株式数	100株
株主数	18,539名

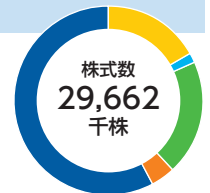
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	15.72
上東 宏一郎	2,707	9.13
上東 洋次郎	1,458	4.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,271	4.29
上東 好子	638	2.15
株式会社りそな銀行	563	1.90
株式会社三井住友銀行	503	1.70
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	459	1.55
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.46
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	423	1.43

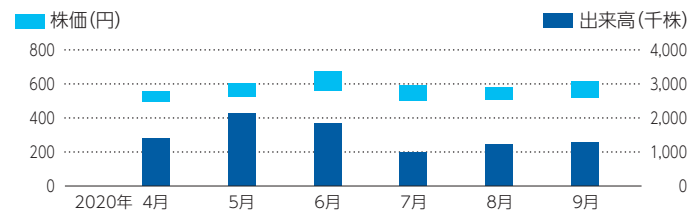
注) 持株比率は自己株式(2,509株)を控除して計算しております。

株式分布状況

金融機関	4,981千株 (16.79%)
証券会社	495千株 (1.67%)
事業法人、その他法人	5,862千株 (19.77%)
外国法人等	1,200千株 (4.05%)
個人、その他	17,122千株 (57.72%)



株価・出来高の推移



公告方法	電子公告により行う。ただし、電子公告によることのできない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。 (公告掲載URL) https://www.jcm-hq.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	6418

株式に関する「マイナンバー制度」について

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- ▶ 証券会社でお取引をされている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- ▶ 特別口座に記録されている株主様
左記特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。



日本金銭機械株式会社
JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.

〒547-0035 大阪市平野区西脇二丁目3番15号
〈お問い合わせ先〉広報・IRグループ TEL (06) 6703-8400

